

武庫川縦断ハイク 道場から生瀬まで

第38回武庫川エコハイク

2010.5.8 エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km²、篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の7市1町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える2級河川である。「武庫川」の名は下流の蓬川の西側が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

武庫川渓谷 神戸市北区道場地区から西宮市生瀬地区までの全長14kmの武庫川渓谷のうち、特に武田尾から生瀬までの7kmを武田尾渓谷と呼び、武庫川に沿って旧国鉄福知山線廃線跡があり、四季折々の景観の美しさ、生物の多様性から都心に近いハイキングコースとして市民に親しまれている。ほかの河川と異なり、上流にあるはずの渓谷が下流沖積平野の直上にある。(河床勾配図参照)

JR 道場駅 明治32(1899)年阪鶴鉄道(現 JR 福知山線)開通とともに道場駅が設置され、当初は木材、薪炭の輸送が多かったが、大正3(1914)年千苧水源池の工事が始まり、工事用資材の搬入に貢献した。当時は貨物引込み線もある駅だった。

神戸市千苧浄水場 神戸市北区の開発や住宅団地の建設などによる人口の増加にあわせて、千苧水源池を水源として、昭和42(1967)年3月に創設された北神水道の浄水場。

羽束川(はつかがわ) 武庫川最大の支流で、源流は大阪府能勢町天王の深山(みやま、標高791m)。途中篠山市後川(しつかわ)、三田市高平を経て宝塚市波豆で波豆川を合流して千苧水源池に注ぐ。流域面積95千km²(武庫川流域の19%)、長さ32km、高低差360で武庫川奔流よりも勾配が大きい。「羽束」は「波都加之(はづかし)」から出、「泥部(はづかしべ、石の職人)」の住む所という説がある。

神戸市千苧水源池 明治の初め、神戸市ではコレラが毎年のように流行し、この対策のため水道の必要性が増大し、明治30(1887)年水道工事が開始され、30年代に布引貯水池、奥平野浄水場、烏原貯水池が完成した。さらに大正8(1919)年、千苧貯水池が完成した。

兵庫県武庫川上流浄化センター 北摂地域(神戸市北区東部、西宮市北部、三田市)の人口増に対応するため、広域下水道武庫川上流浄化センターが昭和54(1979)年に着工され、昭和60(1985)年に完成した。右岸側に増設用地があるが今後人口増が見込めないことから、武庫川の治水のため、遊水地とすることが武庫川流域委員会から提案されている。

第2名神道路 中国自動車道、山陽自動車道の神戸ジャンクションから有野川、有馬川、船坂川を横切り、上流浄化センターの北部を通り川下川ダムの下流で宝塚市に入る。

県道切畑道場線 武庫川に沿って走る県道玉瀬道場線は平成16年の台風23号による水害で約3冠水した。武田尾上流から川下川の間約900mが未開通(途中に岩場あり)。

川下川 宝塚市布見ヶ岳(356m)に源流を持つ、中流に川下川貯水池がある。神戸市北区と宝塚市の境界。

川下川貯水池 宝塚市の水道専用ダム、昭和47(1972)年着工、昭和52(1977)年完成。

武田尾温泉 17世紀に獵師武田尾直蔵が発見したと伝えられる。18世紀中頃には武田尾

この事業は兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会助成を受けています

温泉が金龍湯と呼ばれていたという文献がある。硫化水素をわずかに含有する単純泉。旅館は4軒あり、15時までなら日帰り入湯も可。

旧福知山線廃線跡 旧福知山線は明治32(1889)年阪鶴鉄道として建設、明治39(1906)年国鉄(福知山線)になり、昭和61(1986)年廃線となった。

武田尾橋 赤い吊橋、平成16年23号台風の増水で流失、同18年改築された。

JR 武田尾駅 80%がトンネルの中にある無人駅。西宮名塩駅との間はトンネルで結ばれた。

水管橋 神戸市水道局千苧水源池から西宮の上ヶ原浄水場への送水管、大正8(1919)年完成、橋脚は近代土木遺産の一つ。

温泉橋 旧武田尾駅の改札口前の位置にあり、周辺に茶店がある。この辺りの家屋23戸は平成16年10月の23号台風で床上浸水の被害を受けた。

僧川 「ぼうさんがわ」ともいう。古宝山を源流とし、上流に宝塚市の上水を取水。

桜の園「亦楽山荘(えきらくさんそう)」 面積約40ヘクタール、笹部新太郎氏(1887~1978)の桜の演習林で、最盛時には山桜、里桜約30種約5千本が植えられていたという。現在は宝塚市の里山公園。「亦楽山荘」は建物を指すのではなく、演習林全体をさす。現在里山ボランティアグループ「櫻守の会」が保全活動を行っている。11月下旬の紅葉は見事。

長尾山第1トンネル 全長307m、平成16年の23号台風による増水で道床が流失。

第2武庫川橋梁 全長60m、宝塚市と西宮市との境界。

溝滝 渓谷最大の滝、雄滝、雌滝がある。兩岸から岩石が迫り狭くなった所を流れるので溝滝という。かつては鮎などが昇り、播州の鬪龍灘と並ぶ名風物であったといわれる。

北山第2トンネル 全長413m、コースで最長のトンネルで中がS字にカーブする。

北山第1トンネル 全長318m。

高座岩 渓谷中最大の岩、竜宮につながるといわれ、雨乞いに岩上に動物の生き血を塗り祈るとこれを流すために雨が降ると伝えられる。

武庫川ダム計画 武庫川下流の治水対策として兵庫県が計画、武庫川渓谷の自然環境を保全するため対策を検討中。(裏面参照)

どん尻川 読売ゴルフ場に源流を持ち、途中で西宮市上水道水源池のどん尻ダムがある。

名塩川 国見山付近に源流があり、名塩の集落を通り、武庫川に注ぐ。

旧リバーサイド住宅跡地 平成16年23号台風の洪水で床上浸水83戸の被害を受けた。

西宮市水管橋 木之元から武庫川左岸に送水する西宮市上水道の水管橋。平成16年23号台風の増水で流失し、嵩上げされて再建された。

太多田川(おただがわ) 船坂に源流、中流に蓬萊峡を持つ。多くの花崗岩質土砂を搬出。

生瀬 江戸時代、有馬街道、篠山街道の宿場町、JR 生瀬駅はもと阪鶴鉄道の有馬口駅、有馬温泉への入口でもあった。武庫川で獲れた鮎を使った鮎寿司を淡路屋が売り出した。

(「道場町誌」、「宝塚市史」、「続羽束の郷土史誌」より)

調査: コープともしびボランティア振興財団助成